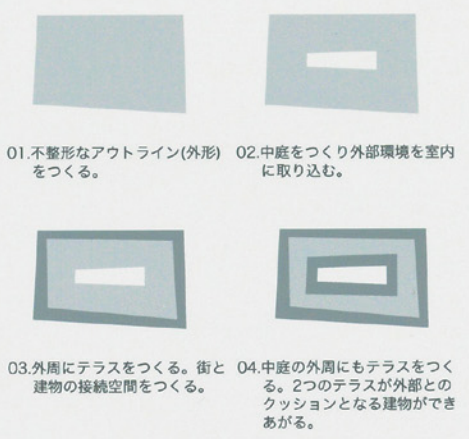




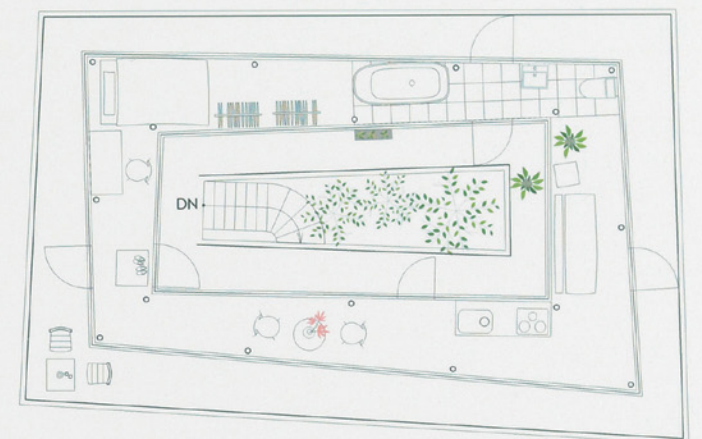
# Solar Partition House

2つのテラス、外周部をめぐるテラスと内部をめぐるテラスからなる住宅である。テラスの手すりにはソーラーパネルが取り付けられる。ただ単にソーラーパネルがエネルギーの利用だけでなく、住空間にも影響を与えるようなものを目指した。  
 1階はピロティとなり、2階に住居がある。壁はなくソーラーパネルの手すりによって区切られる。手すりの高さによって部屋をゆるやかに分けていく。  
 人々の身体感覚を操作することで生活の場として豊かさを見出すことができるのではないかと考えた。

## DIAGRAM



住の空間を小さくし、テラスを介して外部環境とゆるやかにつながる家を提案する。



second floor plan S=1/100

## PLAN

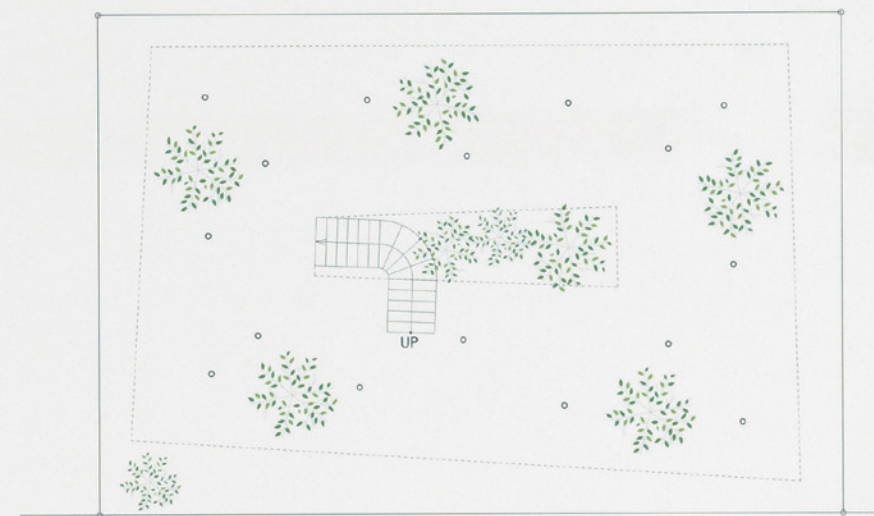


外にあるテラス、内にあるテラスに囲まれた住空間。扉を開け放つことで、風が家の中を通りぬけ気持ちよくなるでしょう。そこは、外部と内部の境界をゆるやかに接続する場所となる。

## SECTION



座ったときに視線を通るよう高さ1200mmの集熱パネルの手すりを設ける。視線はゆるやかにコントロールされる。また、自然光が入り込む明るい環境をつくりだす。集熱パネルに間仕切りのような機能が付加される。



first floor plan S=1/100

小さな空間はテラスと一緒に使用することで大きくなる

テラスには植栽を置いたり、緑側のような場所となる

住空間を小さくすることで、外に近い空間となる



吹抜けから緑が顔をだす

狭い

広い

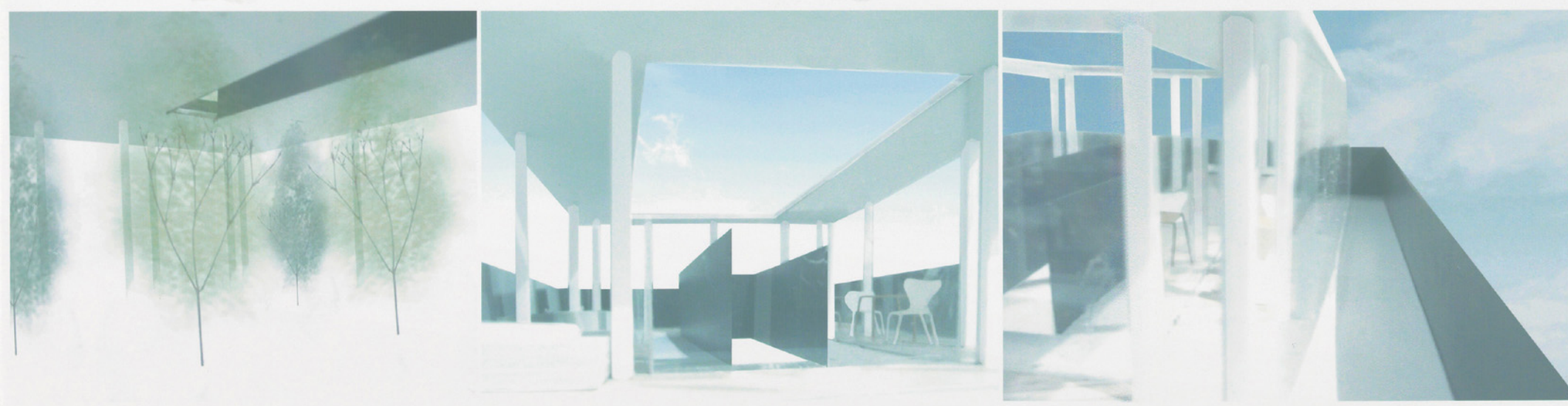
内部の構成は、ラッパの形のように狭い場所と広い場所をつくりだし、視覚による操作により奥行き感を与える

テラスが建物のファサードとなり街と接続する

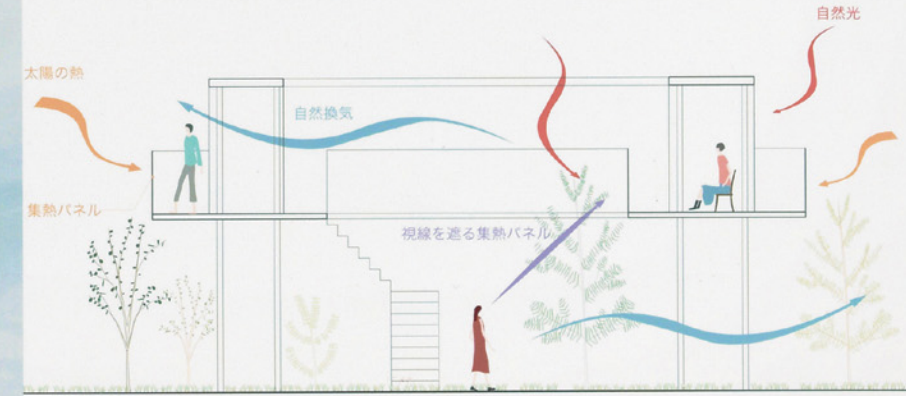
集熱パネル設置位置

貯湯ユニット設置位置

集熱パネル設置位置



1階は都市(外部)に開かれた空間。口の字型で細い建物なので上階があることを感じさせない明るく開放的。近隣の人が気軽に立ち寄り、人付き合いを促すような場所になる。



section S=1/100